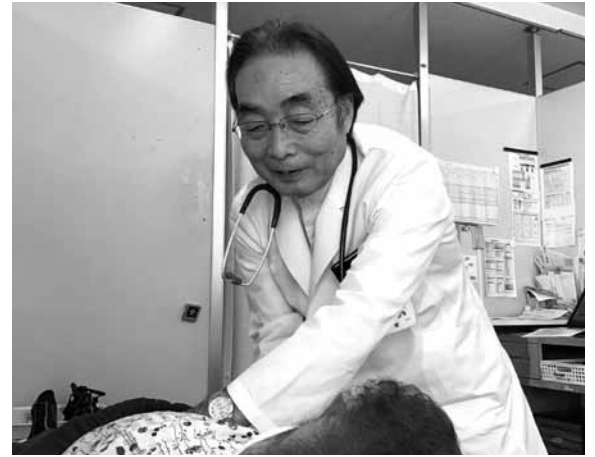


道路整備について

国土交通省直轄代行業では、地域高規格道路江府三次線・鍵掛峠道路のトンネル工事が本格的に始まります。目標である令和7年度の完成に向けて工事が進んでいます。

鳥取県事業では、国道183号河上2期工区は令和4年度完成予定です。また、宮内バイパス及び国道180号福長バイパスは、事業の推進と早期完成を要望していきます。

町事業では、林道の船通山線落石対策事業と内方線開設事業の完成、町道生山印賀線の完成を図ります。



納税について

納税方式の標準化に伴い、税金の徴収方法を集合徴収方式から個別収納方式に変更します。これにより地域の納税組合を廃止しますのでご理解とご協力をお願いいたします。町政始まってからの長きにわたり、納税組合活動を推進していただいた町民の皆様には厚く感謝申し上げます。4月からは、納税にかかる選択肢の拡大として、コンビニでの支払いが可能となりますのでご利用ください。

公共交通について

かねてから検討を進めてまいりました公共交通のドア・ツー・ドア化については、予定通り10月の開始に向け現在鋭意準備を進めています。タクシー助成については、令和4年度は継続し令和5年度以降の在り方については今後整理をしていきます。

もにある学校づくりを進めていきます。

学校給食では、近年の給食材料費の高騰に対する保護者負担の増大を抑制するために、町の負担を一食あたり25円から40円に引き上げることとします。

ふるさと教育では、日野郡3町で進めている高校生向けの公設塾「まなびや縁側」のサテライトを開設します。高校生が通いやすくなるようにし、中学3年生も対象として、3町の連携は保ちつつ、参加者の拡大を図っていきます。

住まいづくりについて

霞地内の公有地に、町内事業所の雇用などが必要となる賃貸住宅の建設をPFI方式により公募したいと思っています。民間の資金力、技術力、経営力などを活用して住まいの選択肢を増やし、移住定住施策を推進し、さらには中心地域・公共施設や土地利用などを含めた計画づくりに努めていきます。

③豊かに生きる協働のまちづくり (つづ)

～町民総活躍の「創造的過疎」へ～

教育について

この春から、保育園が「認定こども園にちなん十色」としてスタートします。コミュニティ・スクールも令和4年度のスタートを目指して準備を進め、学校運営協議会も本年1月に組織化されました。今後も地域と

人材の確保について

各地域振興センター事務長の1人体制を見直し、集落支援員制度の充実を図ります。

地域おこし協力隊制度の活用については、新年度にあたり、体制強化のため社会福祉協議会職員1人、町内での起業を目指す目的で3人をそれぞれ募集しています。そのほか、地域活性化企業人の部門においても2人募集していきます。地域おこし協力隊の趣旨に沿って、今後も制度の活用を推進していきます。

地域活動について

新規に「地域活動支援交付金」を創設します。目的は人と人が定期的に集まって情報共有し、地域をにぎやかにしていただくことです。地域のことや町のことなどを、プラス思考で話し合える場を作っていただければと思います。

これからの地方創生の中心は「ひとづくり」だと考えています。互いが助け合い、協力し合うということは大きな力になり、安心な社会につながっていくものと信じています。地方に残る「地域とひとのつながり」という大切なものを、これから守り続けていきましょう。

新法人の設立について

新年度から、移住定住に関する業務と観光協会の業務を一体化し、一つの法人として活動します。それぞれに専任職員を配置し、迅速に対応できる組織体制を作ります。移住相談や案内を強化し、移住につながる取り組みを更に進めていきます。



※一部抜粋しています。全文は町ホームページでご覧いただけます。

(町ホームページ▽議会事務局▽情報公開)

